本ペーパーの掲載情報は、ウェルココWebサイト掲載情報と一部内容が異なる場合があります。

動画学習サービス「Wellness Eye Study」

SBアットワーク株式会社

動画を使ったeラーニングで企業関心の高い５領域を支援します(メンタルヘルス・ハラスメント・ヘルスケア等)

https://www.softbankatwork.co.jp/lp/wellness-eye-study/

サービス分類・提供内容（選択式）		
体制・業務構築支援	産業保健体制構築支援	
	健康経営推進支援	
	ストレスチェック制度対応支援	
	ハラスメント対策支援	
	過重労働対策支援	
	復職支援に係る体制・業務構築支援	
	人事・労務向けアドバイザリー	
調査・分析支援（人的支援）		
現状把握・分析システム	ストレスチェックシステム	
	パルスサーベイ・従業員意識調査	
	健康・労務データ統合分析システム	
組織づくり・職場環境改善	組織開発コンサルティング	
	管理職向け研修	○
	従業員向け研修	○
管理職向け個別支援		
従業員支援	相談窓口・カウンセリング	
	セルフケア研修	○
	セルフケア支援アプリ	
	復職支援	

サービス概要・特徴（500文字以内）

Wellness Eye Studyとは 、メンタルヘルス・ハラスメント・ヘルスケア等を動画で手軽に学べるeラーニングコンテンツです。
会社規模・社員数・業種を問わず約300社/26万人にご利用いただいております。
eラーニングとしてはもちろん、「メンタルヘルス・ハラスメント対策研修・階層別研修等の題材」「健康経営施策に合わせた社内展開」など、様々な用途で活用いただけます。
主な特徴
①手軽に学べる
・５～10分程度の動画で学習　・PC/スマートフォン等場所や時間を問わず視聴可能
②仕事に役立つ
・現場でよく起こるケースを題材にポイントを解説　・すぐに実践できる学びを提供
③低コスト
・集合研修に比べ、会場費や講師代、参加者交通費等をカット
④課題に合わせて選択
・多くの動画から自社課題に合わせ選択可能（最低購入5本）　・必要に応じて本数追加も可能
⑤導入が簡単
・URLにアクセスし視聴するため、各社での特別な準備は不要

期待される効果		根拠の詳細		
【凡例*】◎:実証評価＞○:導入企業の評価＞●:理論的裏付け		導入企業の評価	理論的裏付け	実証評価
基盤整備	1. 法制度対応			–
	2. 制度・施策体系の整理			–
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減			–
	4. 組織状況の把握			–
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上			
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上			
	7. プログラムへの参加率・利用率向上			
	8. 不調の早期発見・対応			
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○		
	10. 仕事のストレス要因低減	○		
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	○		
	12. 周囲のサポート力向上			
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	○		
	14. 健康状態・心理指標改善	○		
	15. アブセンティーイズム改善	○		
	16. プレゼンティーイズム改善	○		
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	○		
	18. 従業員エンゲージメント向上			
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）			

*ウェルココ上で掲載される際に複数の根拠がある場合は、凡例の優先順で表示されます。

導入企業の評価（500字以内）

■メンタルヘルス動画（管理職向け・全社員向け）
基本的なセルフケア動画が数種類用意されているのに加えて、「レジリエンス」「怒りのコントロール」「心理的安全性」「ジョブ・クラフティング」等、社員の様々なニーズに対応した動画が用意されていることで、メンタルヘルス向上やワーク・エンゲイジメント向上につながっていると感じる。また、管理職を対象としたラインケア動画では、職場で生じる課題（コミュニケーション、業務負荷増加等）を題材にどの様な対応が有効かを学習でき、職場全体の健康リスク低減につながっている。

■ヘルスケア動画（管理職向け・全社員向け）
健康診断の重要性や、がん・喫煙・睡眠・飲酒・生活習慣病・女性の健康といった社員に学んでほしいヘルスケア関連動画があることで、ヘルスケアリテラシーの向上やプレゼンティーズム・生活習慣改善につながっていると感じる。
管理職向けに、メンバーの健康管理を行う上でのポイントや女性の健康といった動画が用意されているのも良い。

理論的裏付け（500字以内）

実証評価

学術介入の有無	エビデンスの水準

（学術介入有りの場合）氏名・所属・専門、掲載文献・発表した学会・演目名（500字以内）

実証評価の結果概要（500字以内）

動画学習サービス「Wellness Eye Study」

SBアットワーク株式会社

様式3 導入企業の評価

該当する効果		
基盤整備	1. 法制度対応	
	2. 制度・施策体系の整理	
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	
	4. 組織状況の把握	
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	
	8. 不調の早期発見・対応	
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○
	10. 仕事のストレス要因低減	○
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	○
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	○
	14. 健康状態・心理指標改善	○
	15. アブセンティーイズム改善	○
	16. プレゼンティーイズム改善	○
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	○
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

実施概要・結果

実施概要
・対象人数：約19,000人
・実施期間：2020年から継続利用
メンタルヘルス・ヘルスケア・ハラスメント対策の動画を全種類利用し、様々なタイミングで社員が視聴できる。
ストレスチェックや健康診断実施後フォロー、健康関連の情報発信、ハラスメント防止対策、ダイバーシティ推進、階層別研修コンテンツ等の様々な機会で、施策に応じた動画を紹介することで、メンタルヘルス向上、Well-being推進、ハラスメント防止の普及・浸透に役立てている。

成果・評価コメント　※「該当する効果」との対応がわかるよう（　）内に効果のNoを付記する

メンタルヘルス・ヘルスケア・ハラスメント防止について、短時間で要点を手軽に学習できる。
多様なテーマが用意されているので、各社員の状況やニーズに応じて適した動画を視聴できる点も評価できる。
■メンタルヘルス動画（管理職向け・全社員向け）
基本的なセルフケア動画が数種類用意されているのに加えて、「レジリエンス」「怒りのコントール」「心理的安全性」「ジョブ・クラフティング」等、社員の様々なニーズに対応した動画が用意されていることで、メンタルヘルス向上やワーク・エンゲイジメント向上につながっていると感じる。
また、管理職を対象としたラインケア動画では、職場で生じる課題（コミュニケーション、業務負荷増加等）を題材にどの様な対応が有効かを学習でき、職場全体の健康リスク低減につながっている。
→(11)

■ヘルスケア動画（管理職向け・全社員向け）
健康診断の重要性や、がん・喫煙・睡眠・飲酒・生活習慣病・女性の健康といった社員に学んでほしいヘルスケア関連動画があることで、ヘルスケアリテラシーの向上やプレゼンティーズム・生活習慣改善につながっていると感じる。管理職向けに、メンバーの健康管理を行う上でのポイントや女性の健康といった動画が用意されているのも良い。
→(9)(10)(13)(14)(15)(16)(17)

■ハラスメント防止動画（管理職向け・全社員向け）
ハラスメントの基礎的な解説、パワハラ・セクハラ関連の動画に加え、年齢や性別に関するハラスメント、アンコンシャスバイアス、カスタマーハラスメントなど様々なテーマで学べることで、社員のハラスメント防止につながっている。管理職がハラスメントにおいて気を付けるべきポイントを説明した動画だけでなく、メンバー間のハラスメントや、ハラスメントと指導の違いなども用意することで、組織全体のハラスメント理解浸透に活用している。

評価者情報

個社ごとの評価結果を根拠とする場合	企業名①	ソフトバンク株式会社	業種	情報通信業
	部署名・役職	Well-being推進室	従業員規模	10,000人以上
	企業名②		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名③		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名④		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名⑤		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
複数社からのアンケート結果を根拠とする場合	アンケート対象及び回答社数	1社のみのためなし		
	実施時期・方法	1社のみのためなし		
	主な設問内容	1社のみのためなし		